

日本少年野球関東大会 大会規程

- ① 1チームの登録選手は11名以上25名以内とする。
- ② 出場選手は平成29年7月16日現在、連盟に登録済で選手登録名簿記載の中から各試合毎に11名以上25名以内とする。
- ③ 資格審査に当たっては、大会本部にて選手登録名簿とオーダー表を照合の上、資格審査証と選手本人の照合をする。なお、審査証は当年度発行のものとする。
- ④ オーダー表記入選手25名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることが出来る。但し、各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）および審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上その時点でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、その時点でベンチ入りを認める。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
- ⑤ マネージャーは同チームの帽子を着帽し、スポーツウエア、トレーニングシューズ等の野球に相応しい服装とする。（Gパン、ハイヒール、サンダル等は禁止）
- ⑥ 組合せの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。
- ⑦ 監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は、選手と同じユニフォームを着用すること。なお、パンツはレギュラーパンツとし、ストッキングが見えるように折り返す。（ロングパンツは禁止）また、髪はボーイズリーグの指導者に相応しい形とする。（極度のロングヘアや染髪は禁止）
- ⑧ 試合開始時間60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表5部を大会本部に提出し、所定の審査を受けなければならない。
- ⑨ 審判部はオーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- ⑩ 試合開始までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- ⑪ ベンチに入る者は、試合中サングラスの着用を禁止とするが、目に障害等がある場合は診断書を提出し、許可を得て着用することができる。また、守備側の選手で太陽が眼に入る場合は、事前に審判の許可を得てサングラスを着用することができる。
- ⑫ 試合方式など
 - 中学生の部
 - ①各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない。（ただし、後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。
試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - ②4回終了時（後攻チームが勝っている場合は4回表終了時）10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - ③7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
 - 小学生の部
 - ①各試合はリーグ戦とする。各試合は6回戦で行ない、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分を超えて新しいイニングには入らず（ただし後攻チームの得点が先攻チームの得点よ

り多い場合、後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合終了とする）また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。

試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする-

- ② 4回以降7点差の場合は（後攻チームが勝っている場合は4回裏終了時）コールドゲームとする。
- ③ 6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが（延長7回）あるいは試合開始から1時間40分を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則を参照」）
- ④ 順位の決定は、勝ち点制を取り入れる。
- ⑬ (1) 小学生の部の投手の投球は一日に6回以内とし、ダブルヘッダーでは連投を認めるが、合計投球回数は6回以内とする。但し端数回数は繰り上げて1回とする。（2日間で連続8イニングとする）
(2) 中学生の部の投手の投球は一日に7回以内とし、連続する2日間で10回以内とする、また、1日に複数試合に投球した投手及び連続する2日間で合計5回を超えて投球した投手（5回は可）は、翌日に投手または捕手として試合に出場することはできない。（中学生投手の投球制限統一ガイドライン参照）
- ⑭ (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回守備2回の計4回とする。延長又はタイブレークに入った場合は、それぞれ1回の指示、伝達を認める。（選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない）
(2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
(3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
(4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
(5) 1イニングで同一の投手に指示、伝達が2回となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことが出来るが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- ⑮ 監督、コーチおよび選手は、審判のジャッジに対して、抗議することを厳禁する。ただし、規則上の疑義申し出については、監督または問題の当事者のみが審判に説明を求めることができる。この場合「3分以内」に規制する。
- ⑯ 監督が選手にアドバイスするときは、マウンドまで行き、選手に指示が出せる。（ベンチよりグラウンドに出る時は、グラウンドコートを脱ぎ、ユニフォーム姿となって、駆け足で往復すること）
- ⑰ 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- ⑱ ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- ⑲ 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- ⑳ 小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックスでベースコーチを務めることができる。なお、ベースコーチは危険防止のために両耳カバー付きのヘルメットを着用すること。
- ㉑ 各チームは同色のヘルメットを1チーム7個以上同色、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること。
- ㉒ ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限り、審査を受ける。
- ㉓ 捕手はボールを受ける時は必ずヘルメットならびに規定防具一式を試合、練習を問わず着用すること。
- ㉔ グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- ㉕ ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- ㉖ 光化学スモッグ、雷の発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、球場責任者の指示に従う。

- ⑳ 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- ㉑ 4回終了時にグラウンド責任者並びに審判員の指導の下、速やかにグラウンド整備を行う。(グラウンド担当チーム)
- ㉒ 登録選手以外の2名をボールボーイとして、グラウンドに入れることが出来る。但し、常時ヘルメットを着用し、試合用ユニフォームは着用しない。

●● タイブ레이크実施細則 ●●

(1) 特別規則

- (ア) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (イ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
- (ウ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- (エ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(ア) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(イ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。